

安全衛生だより第7号

1. 8月全国行事

- | | |
|--------------|------------|
| 1) 夏の省エネ総点の日 | 8月1日 |
| 2) 電気使用安全月間 | 8月1日～31日 |
| 3) 防災週間 | 8月30日～9月5日 |

2. 安全・衛生・防災の心得 : ベテランの特徴と安全作業心得 ～不安全な行為や作業方法を見習わせない～

誰でも、長年行ってきた作業などに慣れて熟練してくると、つい基本を省略して無茶・無理なことをやってしまいがちです。長年の自信が過信を生み、思わぬ事故やケガを引き起こすことが少なくありません。一般的にベテランの作業には、次のような特徴があります。

- ・ 同じ仕事を長年繰り返してきたために、作業動作・要領等にムダが無い。
- ・ 仕事の内容を熟知しているので、一步も二歩も先を読むことができるが、早とちりもする。
- ・ 失敗の経験を活かし、上手く作業をこなすが、時としてステップを飛ばした行為をする。
- ・ 作業の内容をすべて記憶しているため、未確認のまま作業を行いやすい。
- ・ 時々自信過剰になり、そして油断をしがちで別の事に手を出しやすい。

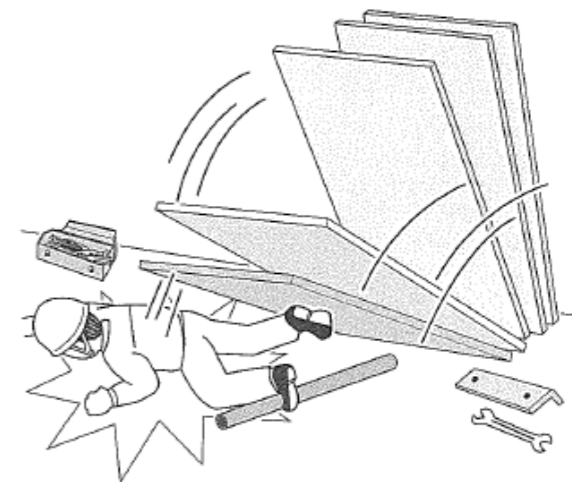
ベテランと言われている人は、次のような態度と心掛けが肝要です。

- ・ 経験だけにとらわれず、今の状況に合った判断と、決められた作業手順などの基本を守る。
- ・ 「安全に絶対はない」という教訓を忘れない。
- ・ 間違った行為などを後輩が見習う恐れがあるので、自分の安全行動等に気を付ける。
- ・ 年齢的に体力や平衡感覚などの感覚が衰えていることがあるので自覚する、など。

3. 他社 事故・災害事例から：立て掛けた鋼板が倒れてきて重傷

(1) 災害発生状況

工場の改築工事現場で、終業時間になって作業場の後片付けを行っていた工事作業者（男性・58歳）に、搬入されて壁に立て掛けてあった、翌日の工事に使用する鋼板（縦1.8m、横90cm、厚さ2cm）5枚が倒れてきてその下敷きとなり、両足骨折の重傷を負いました。



(2) 災害発生原因

- ①鋼板は、翌朝からの作業に備えて現場に仮置きしたもので、倒壊防止対策が不備だったため、振動等で転倒したこと。
- ②被災者の足元に工事の資機材が散乱していたため、金属板が倒れかかってきたとき足を取られて倒れ、下敷きになったこと。
- ③終業間際で、注意が散漫になっていたこと、など。

(3) 再発防止対策

類似災害の防止のためには、次のような対策の徹底が必要です。

- ①倒れる恐れのある重量物等は、短時間であっても転倒防止の対策を厳重に行う。万一の転倒を想定して、出来るだけ寝かせて置く。
- ②作業の途中で物を散乱させないように、作業手順を見直し、作業の中で整理整頓等が行えるよう改善を行う。
- ③作業終了間際の、後片付けなどの非定常作業時に、事故や災害が発生することを予測して「人・物」の安全対策をしっかりと行う、など。

●環境安全部より：

当社、構内作業安全基準書（改訂第2版）の中でも、『共通1-3・4S関係』を記載しておりますので併せてご参照下さい。

4. 当社 良い事例（抜粋）

●愛知工場

①重大事故発生場所の表示



②構内に追加された休憩室



5. ヒヤリハット事例

●事業場より提出されたヒヤリハットです。危険予知活動に利用してください。

いつ	午後3時ころ
どこで	小型ラインのM1Aタンク付近で
何をしている時に	処理を終えた製品にシャワーをかけている時に
どうなった	伸ばし過ぎたホースが足元でたるんだ状態になっていることに気付かず躓いた